



- 目次
- 適切に救急車を活用するために(2面)
 - みんなの健康(3面)
 - 新型コロナウイルス 国民健康保険の傷病手当金の支給(4面)
 - 高齢者のインフルエンザ予防接種(5面)
 - ざまインフォメーション(6・7面)
 - 市制施行50周年記念版「座間市民便利帳」を発行し配布(8面)



座間市マスコットキャラクター「ざまりん」

座間市は11月1日に市制施行50周年を迎えます。



新型コロナウイルス感染症患者を想定した訓練の様子

大切な命を

守るために

救急車の適正利用を

市では、現在4台の救急車で救急要請に対応しています。救急車の出動件数は年々増加する傾向にあり、救急車の現場到着の遅れなどにつながっています。1人でも多くの命を救うことができるよう、救急車の適正利用をお願いします。

消防管理課
☎046(256)2211
FAX 046(256)2215

救急対応の現状

◆救急車出動件数

30年間で **約2.47倍**



令和2年の救急車の出動件数は5,924件で、これは1日当たり約16件、30年前(平成2年)の約2.47倍となっています。

◆現場到着時間

平均 **9分30秒**



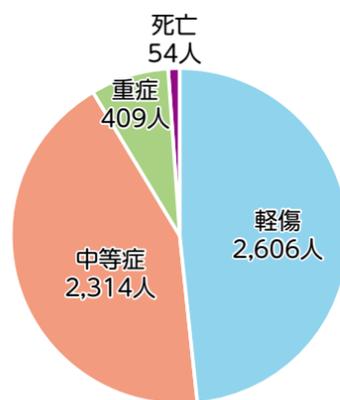
心肺停止の傷病者に心肺蘇生法を開始する時間が1分遅れるごとに、命の助かる割合が7~10パーセント低下し、10分経過してしまうと、救命が困難になってしまいます。また、心臓が完全に停止し、脳に酸素が送られない状態が3~4分以上続くと、助かっても重い後遺症が残る恐れがあります。

平成25年に平均7分36秒であった到着時間が、令和3年(1月1日~8月19日の平均)には平均9分30秒となっています。

◆傷病程度別搬送人員

軽傷の割合 **約48パーセント**

傷病程度別搬送人員構成比(令和2年)



令和2年の救急車の搬送人員のうち、約48パーセントは軽傷となっています。

軽症の中でも、「軽い頭痛がする」「食欲がない」「1カ月前から調子が悪い」など緊急性の低い通報などが1,672件あり、救急対応を逼迫させる一因となっています。

◆新型コロナウイルス感染症患者の搬送

平均約 **51分**

同感染症患者の受け入れは県が指定した重点医療機関で行われていますが、病床の逼迫が進んでおり、近隣の病院で受け入れができないケースが続いています。搬送の際に病院の決定に時間がかかり、また県内の遠方の病院まで搬送せざるを得ないまたは救急要請をしても入院できない場合もあります。

8月の平均で119番を受け現場に到着してから病院に搬送するまでに約51分かかっており、患者の方に負担を強いている状況です。この現状を踏まえて、手洗い、手指消毒、換気、人混みに行かないなど万全の感染症対策を行っていただきますようお願いいたします。

救急車を呼ぶか迷ったら

体調が悪いなど救急車を呼ぶか迷ったときは、2面「適切に救急車を活用するために」をご覧ください。

希望者への「広報ざま」の戸別配布を実施中

※新聞を購読されている方には、新聞に折り込まれます。

○新規のお申し込み 申込専用電話 ☎046(252)8684 (市政戦略課)

○届かない場合 (株)神奈川新聞総合サービス ☎0120(111)429 (無料)

